

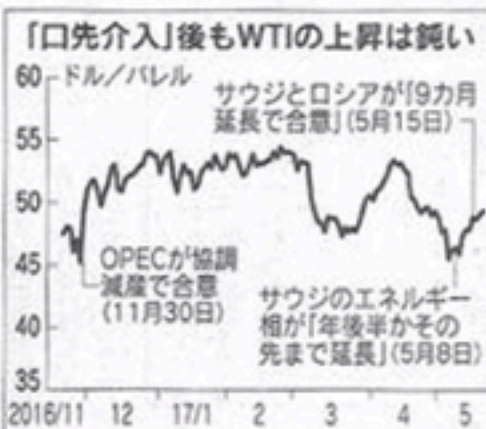
OPECの「減産延長」不発

原油価格 上昇鈍く

原油価格の上昇が鈍い。25日の石油輸出機構(OPEC)総会に先立ち、盟主のサウジアラビアが協議減産の9カ月延長を表明したが、減産を決めた直後の水準には戻らない。米国のシェールオイル増産で減産が帳消しになるとの見方が根強い。OPECの「口先介入」は不発気味だ。

米シェール増産が重荷

WTI(ウエスト・テキサス・インターミディエート)先物は日本時間19日夕方の時間外取引で1ドル50前後、5月上旬



サウジアラビアのファリハ・エネルギー相は減産延長を表明したが…(15日、北京)＝ロイター

は8日、減産が「年後半かその先まで延長される」と発言。15日には2018年3月末まで9カ月延長すると表明した。OPECが正式に決める

に買い材料を提供したが、市場の反応は薄い。OPECにとって誤算だったのは、14年以降の原油安局面で停滞した米シェールの生産の回復の速さだ。自らの月報がそれを裏付ける。減産を決めた16年11月の月報は、米国の17年の生産量を16年に比べ1%減とみていた。今年5月の月報では、逆に6%増と予測。OPEC原油の需要見通しを引き下げた。

米商品先物取引委員会(CFTC)によると、9日時点のWTI先物の投機筋による買い越し幅は32万8751枚と前週の比で12%減った。減少は3週連続で、約半分の低水準だ。OPECの減産延長は

相場の底割れを防いでいるが「25日の総会でサプライズがなければレンジ相場の高値を上げけるのは難しい」「ニッセイ基礎研究所の佐久間誠研究員」の声がある。米バンクオブアメリカ・メリルリンチは18日の

非鉄建値下げ相次ぐ

JX金属・三井金属 銅線など下落も

非鉄金属の国内地金価格引き下げが相次いでいる。JX金属は19日、銅の指標価格である建値を2万円引き下げ、1トン66万円の値下がりにつながり

の地金の相対取引で指標になる。銅は建値が変わると伸銅品をはじめ製品価格も動きやすい。LMEの18日終値は銅が1トン5580ドル、4月の平均値に比べ3%安い。亜鉛も2533ドルと3%下がった。5月に入り米国と中国の経済成長の鈍化を示す指標が相

次ぎ、市場に非鉄需要が鈍るとの見方が広がった。「国際価格が下がって

も円安で建値はもちこたえていた」(伸銅メーカー)が、ここ数日でトランプ政権の先行きに不

透明感が強まり為替が円高に振れた。非鉄スクラップ商社、橋本アルミ(大坂市)の橋本健一郎取締役

役は「値下がりを見込んで手持ちのスクラップ在庫を売り急ぐ動きも出て」と話す。

リゾートクラブ会員権の売買を手掛ける。会員権(横浜市)がまとめた4月のリゾート会員権取引価格は平均244万円で前年同月を6%下回った。前年を下回るのは直近1年間で初めて。4月は夏休み前の需要期だが、景気の先行き不透明感から高額会員権の需要が伸びなかった。リゾートトラストが運営する「エクシブ」や「東京ベイコート倶楽部(くらぶ)」の

高額客室の価格が下がった。

4月、民間調べ 高価な会員権の中には売り出している。時の半値になったものもあり



高価な会員権の中には売り出している。時の半値になったものもあり

鶏卵卸値6%高 前年比、東京地区鳥インフル影響

鶏卵の卸値が前年をたまご(東京・新宿)の(加重平均)。前年同時期に比べて6%高い。鳥インフルの影響で

2016年末から北海道、新潟県、宮城県などで鳥インフルが発生した。それぞれ22万555万羽の採卵用鶏が殺処分された。鶏むね肉の卸値が前年比4割高い水準で推移しており、割安なタン

鉄鉱石の値下がりは一時的に60〜80で推移する

「中国の需要は底堅く、今後2〜3年でブラッシュアップ」

的には中国で鋼材消費は伸部に流入すると考えている。これからの20年で2億5千万人が地方から都市

国政府は鉄鋼生産能力の削減に本気で取り組むが、需要を反映した複数